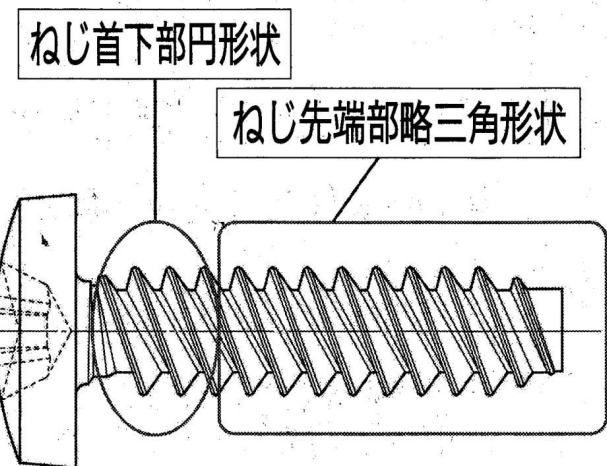


平成29年1月11日
北近畿経済新聞(3面)に掲載されました

綾部の日東精工
CFRPの締結力向上
セルフタッピンねじ開発

ねじメーカーの日東精工(株)(本社・綾部市井倉町、材木正社長)は12月20日、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)向けのセルフタッピンねじ「CFタイト」を発売した。画像は製品イメージ。CFRPは軽量で強度が高く、製品の軽量化や燃費向上を目的に自動車業界や航空宇宙業界などで採用が拡大

している。このCFRPを締結部材として使用する場合、従来のセルフタッピンねじでは炭素繊維の乱れやささくれ、剥離などが発生し、強度低下や外観の不備につながるなどの課題があった。同社が新開発したCFタイトは、先端部をおむすびのような略三角形状にすることで、ねじ込み時の抵抗を抑えて炭素繊維の乱れを軽減。首下部は円形状となり、CFRPとの接触面積を増やして高い締結力を実現した。ねじ山の角度も鈍角にすることで締結強度の低下を抑制するともに外観向上につなげている。



CFRPの利用拡大が見込まれる自動車業界を中心に、スポーツ・レジャー用品への展開を計画。初年度は月1千万本の販売を目指している。

〔岡田〕